

『長岡花火応援商品』発表会
長岡市・長岡花火財団・株式会社セブンーイレブン・ジャパン
共同記者発表要旨

日 時：令和8年7月17日（金）午前10時45分から
会 場：アオーレ長岡 東棟4階 大会議室

【発表項目：長岡花火応援商品】

出席者：長岡市長 磯田 達伸

一般財団法人長岡花火財団 理事長 高見 真二

株式会社セブンーイレブン・ジャパン
新潟・北陸ゾーン 魚沼地区 ディストリクトマネージャー
砂押 朗

商品本部 地区MD統括部 甲信越・北陸地区シニアマーチャンダイザー
山村 賢史

（司会）

長岡花火を応援する取り組みについて発表させていただきます。
はじめに、セブンーイレブン・ジャパン砂押様よりご挨拶をお願いいたします。

（セブンーイレブン・ジャパン 砂押ディストリクトマネージャー）

このたびは長岡花火応援商品の販売開始にあたり、長岡市や長岡花火財団をはじめ、関係者の皆様に感謝申し上げます。本取り組みは、平成29年に締結した地域活性化包括連携協定の一環としてスタートし、今年で10回目となります。今回の取り組みは地域活性化につながるものと考えており、地域の皆様とともに長岡花火を盛り上げていきたいと思っています。

今年は長岡花火応援商品6品を7月28日から新潟県内のセブンーイレブン店舗で販売します。今回は長岡市立上通小学校の児童の皆さんから、「花火のときに食べたいメニュー」を考えていただき、そのアイデアを一部商品化しました。子どもたちの長岡花火への思いや、花火を盛り上げたいという気持ちが詰まった商品になっています。

対象商品の売上の一部は、2027年度の復興祈願花火フェニックスへの協賛に充てます。引き続き地域の皆様と一緒に長岡花火を応援していきたいと思っています。

(司会)

それでは、セブニーイレブン・ジャパン山村様より商品のご説明をお願いいたします。

(セブニーイレブン・ジャパン 山村シニアマーチャンダイザー)

今年で10年目となる長岡まつり大花火大会応援フェアですが、節目の年として、上通小学校の児童の皆さんからご提案いただいたメニューをもとに商品開発を進めました。発売する6商品のうち4商品には、児童の皆さんのアイデアを取り入れています。

まず、「生姜醤油おむすび(チャーハン&メンマ)」は、生姜醤油ラーメンをおむすびで再現した商品です。児童の皆さんから「生姜醤油味でメンマやチャーシューが入ったラーメンみたいなおむすびが食べたい」という提案をいただき、それを形にしました。

「鮭と筋子・枝豆ご飯のおむすび」は、花火のときに食べたい少し贅沢な具材と、夏らしい彩りを取り入れた商品です。

「ミニロール(焼きそば&タレチキンカツ)」は、お祭りといえば焼きそばという子どもたちの発想から生まれた商品です。片手でも食べやすいようにロールパンに焼きそばを挟み、さらに人気のタレかつも加えました。

「クリームに溺れるいちごレアチーズシュー」は、花火を見ながらみんなで楽しめるスイーツがあったらいいというアイデアをもとに開発しました。花火をイメージしたトッピングを施し、見た目も楽しめる商品に仕上がっています。

このほか、毎年好評をいただいている「長岡生姜醤油ラーメン」と、ホットスナックの「カレー唐揚げ」も販売します。児童の皆さんの思いが詰まった商品を県内外のお客様に届け、長岡まつりを盛り上げていきたいと思っています。

商品説明は以上です

(司会)

それでは、事前に試食いただいております磯田市長より、商品へのコメントをいただきたいと思います。

(市長)

セブニーイレブンの皆様には、10年目となる応援フェアを実施していただき感謝しています。今年は子どもたちの「あれも食べたい、これも食べたい」というアイデアが盛り込まれていて、商品開発力のすごさを感じました。

また、上通小学校の子どもたちが考えた商品が県内全域で販売されることは大変意義があると思います。子どもたちにとっても励みになるでしょうし、良い連携事業になったと感じています。

(長岡花火財団 高見理事長)

対象商品の売上の一部をフェニックス花火への協賛につなげていただくことは大変ありがたいことだと思っています。商品を購入することで花火を応援できる仕組みが広がり、市民の皆さんと一緒にフェニックスを打ち上げているという気持ちがさらに高まることを期待しています。